① 豊かで持続可能な社会実現のための新たな価値の提供

マテリアリティ	2025年度 指標（KPI）	目標値	目標年度	実績	主な取り組みの内容	2026年度 指標（KPI）	目標値	目標年度	主な取り組みの内容
事業を通じたイノベーション ▸ P.046-049,055	**研究開発投資額** 日油グループ	256億円（3年間累計）	2025	**81億円** 3年間累計 **233億円**（達成率91%）	研究開発力の強化 ● 産学委託研究公募 ● 共同研究の推進 ● 研究開発支援強化 ● 知財戦略策定と戦略出願	**研究開発投資額** 日油グループ	284億円（3年間累計）	2028	研究開発力の強化 ● 成長分野での有望テーマ創出 ● 事業育成テーマの早期事業化 ● 研究開発効率化支援強化 ● 知財戦略強化
	特許出願件数 日油	500件（3年間累計）	2025	**215件** 3年間累計 **597件**（達成率119%）		**特許出願件数** 日油	630件（3年間累計）	2028	
ライフ・ヘルスケア分野への貢献 ▸ P.033	**ライフ・ヘルスケア分野への戦略製品※の売上高** 日油グループ	15%UP（対2022年度実績）	2025	**12%UP**（対2022年度）	● 戦略製品のライフ・ヘルスケア分野への供給	**ライフ・ヘルスケア分野への戦略製品※の売上高** 日油グループ	20%UP（対2025年度実績）	2028	● 戦略製品のライフ・ヘルスケア分野への供給
環境・エネルギー分野への貢献 ▸ P.032	**環境・エネルギー分野への戦略製品※の売上高** 日油グループ	15%UP（対2022年度実績）	2025	**66%UP**（対2022年度）	● 戦略製品の環境・エネルギー分野への供給	**環境・エネルギー分野への戦略製品※の売上高** 日油グループ	100%UP（対2025年度実績）	2028	● 戦略製品の環境・エネルギー分野への供給
電子・情報分野への貢献（スマート社会） ▸ P.047	**電子・情報分野への戦略製品※の売上高** 日油グループ	15%UP（対2022年度実績）	2025	**24%UP**（対2022年度）	● 戦略製品の電子・情報分野への供給	**電子・情報分野への戦略製品※の売上高** 日油グループ	30%UP（対2025年度実績）	2028	● 戦略製品の電子・情報分野への供給

※ ありたい姿に掲げる目指す3分野（ライフ・ヘルスケア、環境・エネルギー、電子・情報）に関する製品のなかで、顧客満足を追求し、新しい機能・技術を盛り込んだ他社より優れた製品、あるいは、将来の事業部門の中核を担う商品として育て上げたい製品。

② 事業基盤の強化

マテリアリティ	2025年度 指標（KPI）	目標値	目標年度	実績	主な取り組みの内容	2026年度 指標（KPI）	目標値	目標年度	主な取り組みの内容
人材の活躍 ● 人材育成 ● ダイバーシティ	人材育成投資 日油	2.5倍以上（対2022年度実績）	2025	2.6倍（2022年度比）	● 成長支援の強化	人材育成投資 日油	3.5倍以上（2022年度比）	2030	● 成長支援の強化
	新卒総合職女性の採用比率 日油	30%以上	毎年度	39.1%	● 計画的採用の実行	新卒総合職女性の採用比率 日油	30%以上	毎年度	● 計画的採用の実行
	女性管理職比率 日油	3倍以上（対2021年度実績）	2030	1.3倍（2021年度比）	● 計画的採用の実行 ● 女性管理職育成、登用	女性管理職比率 日油	3倍以上（2021年度比）	2030	● 計画的採用の実行 ● 女性管理職育成、登用
	障がい者雇用率 日油	3.0%以上	2030	2.82%	● 障がい者雇用の推進	障がい者雇用率 日油	3.0%以上	2030	● 障がい者雇用の推進
	正社員男女賃金差異比率 日油 国内連結5社	75%以上	2030	73.6% 日油 72.4% 国内連結5社	● 生産箇所などの就労環境整備 ● 女性管理職育成、登用	正社員男女賃金差異比率 日油 日油／国内連結5社	75%以上	2030	● 生産箇所などの就労環境整備 ● 女性管理職育成、登用
	男性育児休業取得率 日油	100%	2030	94.1%（1日以上の取得）	● 取得しやすい環境整備	男性育児休業取得率※ 日油	85%以上（2週間以上の取得）	2030	● 取得しやすい環境整備

▸ P.072-074

リスク サステナビリティ報告書 ▸ P.196

- 人材育成の遅滞による、持続的な事業成長の停滞
- 必要な従業員確保ができず、事業計画に遅延発生

機 会 サステナビリティ報告書 ▸ P.196

- 内部人材育成と外部人材登用の組み合わせによる組織能力進化
- 省人化・自動化の投資（スマートファクトリー化加速）
- 高齢者や女性が活躍できる製造職場整備、多様性のある組織実現

戦 略

- 人材会議で、全社の人材育成施策計画に関する審議および実施内容の評価
- CSR委員会で人材育成、採用状況の報告と対応方針を議論
- 新卒採用では工場見学会などの事業理解促進、経験者採用では採用情報の発信先を拡充
- 退職者再入社制度の整備
- モデル工場でのスマートファクトリー導入ノウハウの蓄積、他工場へ展開
- 計画的な設備投資（職場環境の改善）の実施

※ 1日以上の取得（2030年度：100%）を、2026年度より2週間以上の取得へ変更。実質的な育児参加をすることで育児休業の質を改善。

マテリアリティ	2025年度 指標（KPI）	目標値	目標年度	実績	主な取り組みの内容	2026年度 指標（KPI）	目標値	目標年度	主な取り組みの内容
働きやすい職場づくり ● エンゲージメント ▸ P.075	年次有給休暇取得率 日油 国内連結5社	75%以上	2025	81.4% 日油 80.1% 国内連結5社	● 健康経営宣言周知による意識付け	年次有給休暇取得率 日油／国内連結5社	75%以上	2030	● 健康経営宣言周知による意識付け
	総合エンゲージメントスコア 日油	50.0以上	2025	51.0	● エンゲージメント調査を起点とした施策の実行	総合エンゲージメントスコア 日油	53.0以上	2030	● エンゲージメント調査を起点とした施策の実行
	リスク サステナビリティ報告書 ▸ P.196 ● 家族介護などによる離職率上昇、事業推進や業務遂行に支障 **機 会** サステナビリティ報告書 ▸ P.196 ● 業務標準化による、組織のレジリエンス向上 ● 育児や介護と仕事の両立支援策の強化により、従業員エンゲージメント向上					**戦 略** ● 上司とのキャリアに関する対話の機会、キャリア構築支援や働きやすい職場づくり推進 ● キャリア相談窓口の設置、主体的キャリア形成と成長支援 ● DX推進や生成AI導入による業務効率化やプロセス見直しを通じた生産性向上 ● 育児・介護などと仕事の両立支援制度の充実			
CSR調達の推進 サステナビリティ報告書 ▸ P.172-175	CSRアンケート調査のカバー率（購入金額ベース） 日油	85%以上	2025	92% 日油 （2025中計期間の累計）	● サプライヤーへのCSRアンケート調査は2023、2024年度で完了	CSRアンケート調査のカバー率（購入金額ベース） 日油	85%以上	2028	● CSRアンケート実施※
	CSR調達の定着化に向けた対象サプライヤーへの面談による改善依頼（会社数ベース） 日油	85%以上	2025	96% （対象25社中、24社と面談を実施）	● 対象サプライヤーへの面談による改善依頼の実施	25中計面談サプライヤーの改善率（改善した会社数／24社） 日油	75%以上	2028	● 対象サプライヤーのフォロー
	リスク サステナビリティ報告書 ▸ P.175 ● 持続可能な責任ある調達への取り組み不十分と見なされ、信用低下 **機 会** サステナビリティ報告書 ▸ P.175 ● 社会的責任の履行、リスク軽減、ブランド価値の向上、競争力の強化					**戦 略** ● サプライヤーへの面談、改善依頼の実施			
レジリエンスの向上 サステナビリティ報告書 ▸ P.081	BCP教育訓練時間 日油グループ	のべ4,000時間	毎年度	のべ8,000時間	● 各種BCPマニュアルの充実化 ● 訓練シナリオ拡充による対応力向上 ● 監査による箇所活動の点検・確認	BCP教育訓練時間 日油グループ	のべ4,000時間以上	毎年度	● 各種BCPマニュアルの充実化 ● 訓練シナリオ拡充による対応力向上 ● 監査による箇所活動の点検・確認

※ 油化産業㈱、日本工機㈱、日油技研工業㈱、昭和金属工業㈱、NOFメタルコーティングス㈱にも展開。

③ レスポンシブル・ケア活動の推進

マテリアリティ	2025年度 指標（KPI）	目標値	目標年度	実績	主な取り組みの内容	2026年度 指標（KPI）	目標値	目標年度	主な取り組みの内容
気候変動への対応 ▸ P.080-088	CO_2排出量 国内グループ	40%削減（2013年度比）	2030	123千トン／年 31%削減（2013年度比）	● 低環境負荷エネルギー源への転換推進 ● 省エネ設備の導入推進 ● エネルギー効率的利用と見える化の推進	CO_2排出量 国内グループ	107千トン／年 40%削減（2013年度 179千トン／年）	2030	● 低環境負荷エネルギー源への転換推進 ● 省エネ設備の導入推進 ● エネルギー効率的利用と使用量の見える化の推進
	カーボンニュートラル 日油グループ	達成を目指す	2050			カーボンニュートラル 日油グループ	達成を目指す	2050	

リスク ▸ P.082

- 環境法規制への対応による製造コスト増加、製品の売上減少
- 原材料価格高騰による調達コストの増加
- 一部原材料の使用による評判の悪化、株価の下落
- 生態系サービス劣化による栽培・生産・調達コスト増加
- 生産拠点・バリューチェーンの風水害被害による売上減少

機 会 ▸ P.083

- 資源効率上昇による製造コスト減少
- 環境保全に貢献する製品へのニーズ拡大による売上増加

戦 略

- 温室効果ガス（GHG）排出量削減に向けた取り組み推進
- プラスチック使用量の削減
- 複数購買や長期契約による原料安定確保
- 持続可能なパーム油の調達
- 原産地のリスクを踏まえた調達先・取引先の選定（トレーサビリティの確保）
- 雨水対策や建物・設備の防災対策
- 環境保全に貢献する製品の開発・提供

マテリアリティ	2025年度 指標（KPI）	目標値	目標年度	実績	主な取り組みの内容	2026年度 指標（KPI）	目標値	目標年度	主な取り組みの内容
ケミカルセーフティ ▸ P.090-092	2021年度改正PRTR対象物質排出量 国内グループ	170トン／年以下	毎年度	139トン／年	● 排出量削減施策の創出と実行 ● 製造プロセスの再評価	2021年度改正PRTR対象物質排出量 国内グループ	170トン／年以下	毎年度	● 排出量削減施策の創出と実行 ● 製造プロセスの再評価
労働安全衛生の推進 ▸ P.093	休業災害発生件数 国内グループ	ゼロ	毎年度	4件	全員参加とリスクの先取りによる ● 危険に対する感性の向上 ● 基本的安全行動の実践 ● 災害リスクの低減 ● 三現主義に基づく対策の強化	休業災害発生件数 国内グループ	ゼロ	毎年度	全員参加とリスクの先取りによる ● 安全文化のさらなる醸成 ● 基本的安全行動の定着 ● 災害リスクの低減 ● 三現主義に基づく対策の強化

リスク
- 国内外の規制強化
- 規制対応のための設備の拡充や管理体制の強化に伴うコスト増大
- 既存製品が製造不可能となり、売上減少

機 会
- 積極的な排出管理対策、サステナビリティ貢献製品の開発・提供による評価・評判の向上

戦 略
- 排出量削減施策の創出と実行
- 製造プロセスの再評価
- 利害関係者への情報提供拡充
- 国内外規則への確実な対応